
君は変わってしまった

悲劇のM

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

君は変わってしまった

【Nコード】

N4187F

【作者名】

悲劇のM

【あらすじ】

君は僕の知る君ではなくなってしまった。無理な頼みとは分かってるけど、もう一度、君の笑顔を見せてください。

たしか、君とは小学校の時から一緒だった。

あの頃はずっと喧嘩ばかりしてたけど、中学に入学して僕は君と付き合い始めたんだっけ。

思えば、君と過ごした2年間は楽しかったな。

君は僕を愛してくれた。

誰よりも僕にやさしかった。

君みたいにやさしい子は、僕は見たことがなかった。

僕には君しかいなかったんだって、ずっと思っていた。

覚えてる？ 中1の夏休み、僕と君はずっと一緒だったよね。

毎日君といた。

僕は君といる時間が、一番楽しかった。

時には喧嘩だった。

けど、いつもすぐに仲直り。

喧嘩したなんて記憶、君の笑顔に塗り替えられてた。

僕は君が大好きだった。

僕以上に君を愛する人なんて、この世にはいないってぐらい君を愛していた。

冗談じゃなく、君の為なら死ねたんじゃないかなって思う。

けど

2年。

君と過ごしたこの歳月が音を立てて崩れ去るように、君は変わってしまった。

僕の知る君ではなくなった。

君は僕を一切寄せ付けなくなった。

他の人には笑顔を振りまくのに、僕にだけ冷たい顔をしてた。

だけど僕は君を愛していたんだ。

僕はもう一度君を振り返らせる為に、色んな努力をした。

けど、君は振り向いてくれなかった。

もしかしたら、君は最初から誰も彼も好きだったのかな。

いや、誰も彼もというのは間違いか。『僕以外の人全て』が正しいのかもしれない。

僕に対しては2年間も偽りの笑顔を咲かせていたんだ。

全て僕の自意識過剰な独りよがりだったんだ。

僕は、もう君を諦める事にするよ。

けど、最後に君の笑顔をもう一度見たかったな。

それも、もう叶わない願いだっということとは分かってる。

それでも、もう一度僕に振り向いて。

その笑顔を僕に見せて。

僕一人だけに、君の全てを見せて。

僕に、笑って。

もう一度、笑顔を^{こたえ}見せてよ、数学さん。

(後書き)

中学三年生の筆者は数学が大嫌いです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4187f/>

君は変わってしまった

2011年1月23日02時17分発行